

ハイライトよねやま 62

(財)ロータリー米山記念奨学会

2005年4月11日発行

1. 寄付金速報 ~あと残り3カ月を切って

3月までの寄付金は、前年同期と比べ3.45%減、約4千3百万円の減少でした。普通寄付金が1.7%減、特別寄付金が4.4%減です。「2004-05年度普通寄付金送金のお願い」を3月25日付で、約130のロータリークラブ会長宛にお送りしました。普通寄付金をまだご送金されていないクラブは早急にお送りくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2. 第2回 寄付金増進タスクフォース報告

3月9日(水)に第2回寄付金増進タスクフォースが開催され、普通寄付・特別寄付の具体的な増進方策案について話し合われました。協議では、「最も重要なことは米山奨学事業を理解してもらうこと」という意見で一致し、米山奨学生を知ることで、事業についての理解が促進されるよう、奨学生の卓話の推進や、大学から離れた地域のクラブにも奨学生を短期間お世話いただくCO-HOST制度(世話“子”クラブ、ホームステイ制度)の実施などが提案されました。これらの意見は、3月23日(水)開催の常務理事会で報告されました。なお、このタスクフォースは今回をもって終了となります。ご協力いただいた理事・委員の皆さまに心より御礼申し上げます。

3. 米山奨学金の減額について

かねてお知らせしていたとおり、2005年4月支給分から奨学金が減額(*)となりました。昨年からの継続奨学生に支給の際は特にご注意ください。なお昨年9月中旬に、継続奨学生の世話クラブ宛に継続奨学生とカウンセラーへの通知を発送しております。

(*) YD(博士)、YM(修士)、CY(クラブ米山) 月額15万円 14万円へ変更
YU(学部)、SY-1(特別米山) 月額12万円 10万円へ変更

4. 2005学年度：802名の米山奨学生が決定(2005年4月8日現在)

米山奨学金の全プログラムの採用数が決定しました。今年度の合格者と、昨年からの継続奨学生を合わせた802名(休学延長者3名を含む)が2005学年度の米山奨学生です。

新規奨学生の世話クラブ・カウンセラーもほぼ決定し、5月には各地区で奨学生を対象としたオリエンテーションが開催されます。その席上で確約書に署名をして、はじめて正式な米山奨学生となります。

米山奨学生	741名	(新規490名、継続251名)		
クラブ米山奨学生	44名	特別米山奨学生	14名	休学延長者 3名
			計 802名	*2005年4月8日現在

5. 米山奨学生の博士号取得状況

卒業のシーズンになり、奨学生や学友から博士号取得の報告が続々と届いています。この3月に博士号を取得したのは44名(4月8日現在)。その内、最も多いのが医学・歯学系の11名、続いて工学系が10名となっています。毎年100名前後の報告がありますが、報告を忘れてしまう奨学生もいます。博士の学位取得者には、米山奨学会よりお祝いの時計をお送りしていますので、世話クラブ・カウンセラーの皆様からも、ぜひご報告くださいますようお願い申し上げます。

6. ネパールに女性の職業訓練所を開設した米山学友アルチャナ・シュレスタさん

～現地 RC とのツインクラブ締結を機に、世話クラブを含めた5クラブが支援を決定

【第2630地区(岐阜県・三重県)】～

ネパール出身の米山学友、アルチャナ・シュレスタさん【2001-02 / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿西 RC】は、大学卒業後に帰国し、女性の地位向上のための職業訓練所を開設しました。「ルーザー(日の出)・トレーニングセンター」と名づけたこの訓練所では、手に職をつけて自立を目指す多くの女性が、ミシンの縫製や刺繍、美容・理容技術を習得しています。

今なお社会に厳然とカースト制度の残るネパールでは、最も自立を必要とするカースト下層の女性は、貧しさ故に授業料が払えず、入所の希望が叶いません。そのためアルチャナさんは、パタン市のラリトプール・ロータリークラブを通じて、このような女性たちが無償で学べるための支援を、彼女の学んだ地である鈴鹿に求めました。

この要請に応じて、第2630地区(岐阜県・三重県)の鈴鹿・鈴鹿西・鈴鹿ベイ・鈴鹿シティ・亀山の5ロータリークラブは各々が、土井賢一ガバナー補佐の提唱で、ロータリー100年記念ツインクラブの締結を期し、「ルーザー職業訓練所の支援事業」を計画しました。3月27日、ラリトプール・ロータリークラブのB.Kシュレスタ会長も来日してツインクラブ締結調印式が行なわれ、日本側から向こう3年間継続し、合計140万円の支援が約束されました。



ルーザー・トレーニングセンターでの縫製訓練の様子

アルチャナ・シュレスタさんの談話:

「ネパールの女性の地位向上のために役立ちたい、これは私が日本留学を通じて得た夢です。留学中お世話になったいろいろな方に、『帰国したら人のために役立つことをするんだよ』と励まされ、いつしかそれが私自身の夢になりました。帰国後のニーズ調査で、ミシンによる縫製を仕事にしたいという希望が最も多いことが分かりました。また、少ない資本で開業でき、収入もよい美容師・理容師もそれに次ぐ人気でした。そこで、自立を目指す女性にこれらの技術を習得させる職業訓練所を開設したのです。日本語の通訳・翻訳業、そして日本語教師としての収入のほぼすべてをつぎ込んで、ルーザー・トレーニングセンターを開所することに親兄弟さえも反対しましたが、私は迷いませんでした。いろいろな困難を乗り越えてここまでやってきましたが、今回、世話クラブの鈴鹿西 RC をはじめ、鈴鹿・亀山の5ロータリークラブからの温かいご支援をいただけることになり、本当に感謝しています。これから、いろいろなトレーニングを行って、女性の活動の場を広げたいと考えています。」



笑顔で抱負を語る
アルチャナ・シュレスタさん

世話クラブ:鈴鹿西 RC の松本裕夫氏の談話:

「アルチャナさんは、米山奨学生当時から日本のコミュニティーに溶け込み、その人柄で周囲の人から非常に愛されていました。私たちも、当時から彼女の夢を聞いていましたので、クラブとしても彼女を応援したいという機運が自然に高まったのだと思います。ロータリー100周年、そして当クラブの創立20周年にあたる今年、ラリトプール RC とのツインクラブ締結調印が整いましたので、同クラブと協力し、第2630地区世界社会奉仕資金の協力も頂き、5RCとして彼女の素晴らしい活動をサポートできることを嬉しく思います。」

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当: ^{みね} 峯・^{のう} 野津・^{おおは} 大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8階
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/